

茅ヶ崎市立鶴が台中学校

鶴が

若き心 集まるところ

2月



平成31年2月 校長 伊藤 盛人

鶏始めて乳す

昔はこの頃に鶏が卵を産み始めたとか

台中ではインフルエンザA型が

猛威を奮っています

1月21日（月）2年2組と2年3組の両学級は、インフルエンザA型の感染で多数の欠席者が出たため、24日（木）までの3日間を学級閉鎖にいたしました。今年は、暮れからしばらく晴天が続き、カラカラ陽気の中で、インフルエンザ流行警報が発令されたこともあり、注意を喚起していたところですが、突然の対応ということになりました。この2学級については既に25日（金）学級閉鎖解除とともに授業を再開しています。閉鎖中の授業については、補習時間を設けました。ご承知ください。

さらに1週間後の1月28日（月）には、1年生の各学級でも少しずつ感染者が目立ってきました。学級閉鎖には及びませんが、職員の中でも高熱を発し、お休みをしている者もいます。また、3年生の中にもインフルエンザにかかっている生徒がいます。引き続き、万全を期してうがい、手洗いの励行をご家庭でもお願いします。

中学校説明会が開かれました

1月24日（木）14：30より鶴が台小学校、香川小学校の6年生のみなさん（学級閉鎖の6年4組を除く）を本校体育館にお招きし、生徒会主催の「中学校説明会」を行いました。本部役員が中心になって中学校生活全般についての説明をしました。その後、6年生のみなさんはお楽しみの部活動体験をしました。

本校主力の2年生が学級閉鎖中（2年2組、2年3組）の影響で十分な「おもてなし」ができなかったかと思いますが、



6年生の真剣な姿に期待が膨らみました。

みんなで地域を

清掃ボランティア

1月26日（土）鶴が台中学校区のそれぞれの地域で各小学校区青少年育成推進協議会主催による清掃ボランティア活動に参加しました。当日はインフルエンザの流行による影響が、とても心配されましたが、地域の方と過ごす貴重な体験ができてとても良かったと思います。地域の皆様からも「中学生が参加すると活気が出る」とお褒めいただきました。

例年、受験に備えて行う校長面接で、「高校の先生に語る台中生の誇りは何？」という問いに3年生が「地域活動へ参加して清掃ボランティアをすることです」と、胸を張って答えてくれます。このボランティア活動が中学生にとって貴重な体験になっていることを感じます。ありがとうございました。

「笑顔は人に伝播するもの」 続編

好物のサンマーメンをすすりながら私は、5年ほど前の出来事を思い出しました。5年前もちょうどこの席でサンマーメンを注文していました。

その日は、今日よりもだいぶ店内は込み合い、いつものように活気に満ちていました。店の外には店内に入れないお客が並び、背伸びして店内を覗き込む人がいるほどです。私もやっとの思いで席に着き、いつものサンマーメンを注文しました。

カウンター席の隣には、既にラーメンを食べ始めたお客がいて、少しムットとしている様子でした。

次の瞬間です。隣のお客が「いつまでこの店は客を待たすつもりだ。しかも、俺が注文していないものを出してきた。責任者を呼べ！」突然、怒鳴り声をあげました。店内は一瞬にして沈黙しました。

しばらく静まり返った店内の沈黙を破ったのは、今まで調理に専念していた店長でした。

「お客さん相済みません。誠に申し訳ありません。今すぐ作り直します」と、店長はかぶっていた調理帽子を取り、丁寧に頭を下げました。ところが、お客は「もういい。時間がない。いくらだ？」と、更に強い口調で言い返しました。「お代をいただくわけにはいきません。今、しばらくお待ちいただけないでしょうか？」しかし、そのお客は自分の怒りを抑えきれなかったのか、乱暴に席を立ってしまいました。しばらく、沈黙は続きました。店内は突然の怒鳴り声で静まりかえったままでした。店長はその後、自分の持ち場であるキッチンに戻り、平静を装いながら、黙々と仕事を続けました。他の4人の店員たちも店長に合わせるように黙々と仕事をつづけました。

5年前のことは全くお店のミスであって、怒ったお客に罪はないと思います。そして、この店に弁解の余地はないと今でも思います。しかし、同時にどこかやるせない気持ちになったのも事実です。ただ、その後、店員たちがその場で弁解を一切せず、黙々と働く姿に私は救われたような気がしました。

その後、私のところにサンマーメンが届いた時、カウンター越しに女性店員が

「申し訳ありません。お気を悪くなくないように」と、小さな声で囁きました。



校内書初め展 3年生 「澄心静慮」

今回、この席に腰掛け、いつものようにサンマーメンをすすりながら思いました。5年前のあのお客を責めるつもりは全くないけれど、あのお客にも『笑顔は伝播するもの』そして『みんなでその場を作るもの』と、少しでもわかってもらえたら、よかったらと思うのです。

この店の「サンマーメン」が日本のどこのラーメン店よりもうまいかどうかはわかりませんが、この店に人が集まり、繁盛し続けることができるような気がしました。

皆さんも、仲間と過ごすとき、「笑顔は伝播するもの」として自分から「笑顔」を広めてみてはいかがでしょうか。



1月23日(水) 校内研究会
2年1組研究授業